

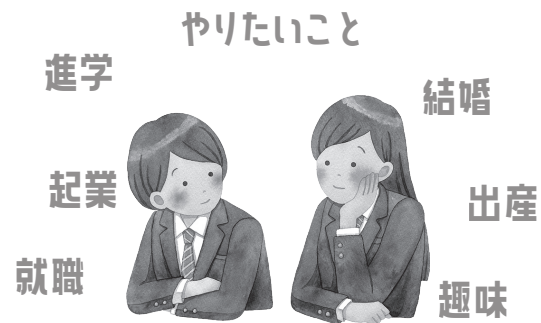
未来を選ぶために知っておきたいこと

【からだ・妊娠・性の健康】

キーコンセプト

6.人間のからだと発達 7.セクシュアリティと性的行動 8.性と生殖に関する健康

あなたはどんな未来を描きますか？

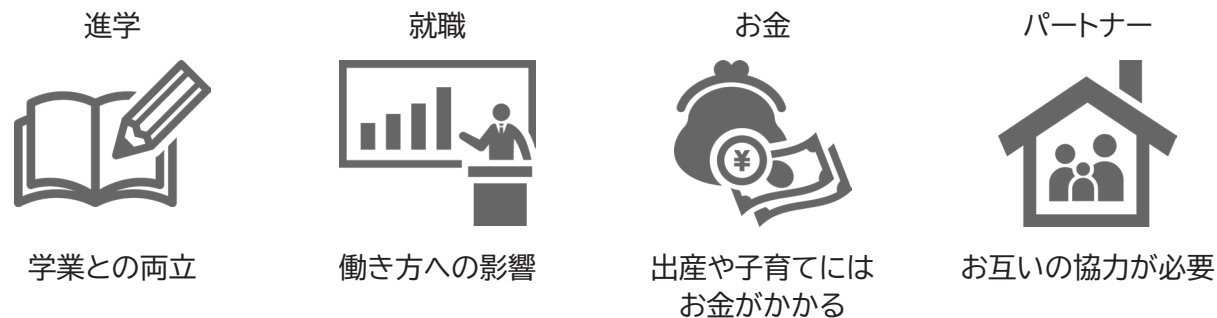


進学、就職、結婚、子育てなど人生にはさまざまな選択肢があります。どの道を選ぶとしても、自分らしく生きるためには、自分自身のことを知り正しい知識を持つことが大切です。

妊娠や避妊、性感染症について学ぶことは、自分と相手を大切にしながら未来を選ぶ力につながります。

妊娠は人生設計にも関わります

妊娠や出産は新しい命を迎える喜びがある一方で、進学や就職、経済面など人生のさまざまな場面に関わります。自分らしい未来を選ぶためには、妊娠や出産について正しく知り、自分自身と相手を大切にしながら考えることが大切です。



大切なのは「話し合うこと」

望まない妊娠を防ぐためには、妊娠を避けるための避妊方法を知っておくことが重要です。

コンドーム：性交時に装着して、精子が子宮に入るのを防ぐ方法です。性感染症の予防にも役立ちます。

低用量ピル：毎日服用することで排卵を抑え、妊娠を防ぐ方法です。医師の処方が必要です。

緊急避妊薬：避妊できなかった場合などに妊娠を防ぐために服用する薬です。



避妊は大切ですが、どの方法も100%妊娠を防げるわけではありません。

妊娠や避妊は一人だけの問題ではありません。お互いの気持ちや将来について話し合い、責任を持って行動することが大切です。また、困ったときや不安なときは一人で抱え込まず、保護者や信頼できる大人に相談しましょう。

「らしさ」ってなんだろう？

【ジェンダー・多様性】

キーコンセプト

1.人間関係 2.価値観、人権、文化、セクシュアリティ 3.ジェンダーの理解

「男の子だから」「女の子だから」と、知らないうちに決めつけていませんか？

子どもの好きなことや得意なこと、感じ方は一人ひとり違います。性のあり方も同じように一人ひとり異なるものです。固定観念にとらわれず子どもが自分らしく成長できるように、まずは〇×クイズと一緒に考えてみましょう。



Q 「女の子らしくしなさい」と言うことは子どものためになる

✗ 「女の子らしさ」「男の子らしさ」に正解はありません。大人の価値観を押し付けるのではなく、そのらしさを大切にしましょう。

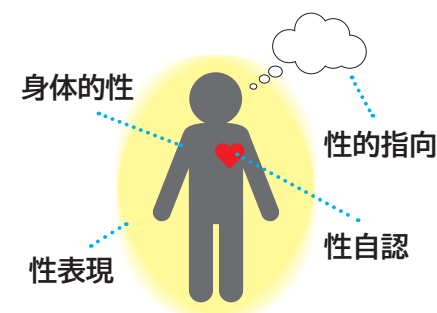
Q 子どもの好きなことは性別に合わせて選ばせた方がよい

✗好きな色や遊び、部活動、将来の夢などに男の子向け、女の子向けという決まりはありません。子どもの「好き」や「やってみたい」という気持ちを尊重することが大切です。

Q 性のあり方は一人ひとり違ってよい

○性のあり方はグラデーションのように多様です。一人ひとりちがっていて、それが正解。性のあり方を大切に、それを他人から否定されない権利があります。

性のあり方 4つの視点



身体的性	からだの性のつくり、染色体や外性器の形状などによってオスやメスを判定される
性的指向	恋愛感情や性的欲求を抱く性別、どんな人に惹かれるか
性表現	服装・しぐさ・言葉遣いなど自分をどう表現するか、「らしさ」の性
性自認	自分で深く実感して生きていこうとする性、いわゆる「こころ」の性

LGBTQ+ を知っていますか？

L【レズビアン】 身体的・精神的に女性を好きになる女性

G【ゲイ】 身体的・精神的に男性を好きになる男性

B【バイセクシャル】 好きになる対象が、男性と女性の両方である人

T【トランスジェンダー】 出生時に割り当てられた性別と、自分の性自認(こころの性)が異なる人

Q【クエスチョニング】 自身の性自認や性的指向が定まっていない人、あえて決めたくない人

+【プラス】 LGBTQ以外の数え切れないほどの性のあり方が含まれる